

イーストスプリング・ インドネシア株式オープン

追加型投信／海外／株式

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主としてインドネシアの金融商品取引所に上場されている株式を主な投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成対象期間につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

作成対象期間 2018年5月15日～2018年11月12日

第18期 2018年11月12日決算

日経新聞掲載名: ネシア株

第18期末	基準価額	8,816円
	純資産総額	10,955百万円
第18期	騰落率	-2.9%
	分配金合計	0円

(注)騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

<http://www.eastspring.co.jp/>

[お問い合わせ先]

電話番号：03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順で閲覧、ダウンロードすることができます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

ホームページにアクセス ⇒ 「ファンド情報」を選択 ⇒ ファンド名を選択 ⇒ 「目論見書・月報・運用報告書等」の「運用報告書(全体版)」を選択

運用経過

基準価額等の推移について

(2018年5月15日～2018年11月12日)



第18期首	9,077円
第18期末	8,816円 (既払分配金0円)
騰落率	-2.9% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 基準価額の推移をわかりやすく表示するため、今回より分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。したがって、前期までとは形状が異なる場合があります。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は下落しました。

下落要因

- ・インドネシア株式市場が下落したこと。
- ・インドネシアルピアが対円で下落したこと。

1万口当たりの費用明細

(2018年5月15日～2018年11月12日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	61円	0.716%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、8,586円です。
(投信会社)	(25)	(0.296)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(35)	(0.404)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	1	0.015	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(1)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	(1)	(0.008)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
(その他1)	(0)	(0.000)	信託管理事務に係る手数料
(その他)	(0)	(0.000)	余資運用に係る費用（マイナス金利相当額）
合計	62	0.731	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

最近5年間の基準価額等の推移について (2013年11月12日～2018年11月12日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 基準価額の推移をわかりやすく表示するため、分配金再投資基準価額は、2013年11月12日の値が基準価額と同一になるように指数化しております。したがって、前期までとは形状が異なる場合があります。

決算日		2013/11/12	2014/11/12	2015/11/12	2016/11/14	2017/11/13	2018/11/12
基準価額	(円)	8,474	10,271	8,503	8,609	10,176	8,816
期間分配金合計(税引前)	(円)	—	400	100	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率(%)		—	25.9	-16.4	1.2	18.2	-13.4
純資産総額	(百万円)	35,739	29,476	19,027	14,716	15,040	10,955

*当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

インドネシア株式市場

当期のインドネシア株式市場は一進一退の展開となりました。期初はインドネシア中央銀行（BI）が臨時の金融政策決定会合を開くと発表したことを受けて、追加利上げが期待され上昇しましたが、2018年6月後半にかけて米中貿易摩擦への懸念から株価は下落しました。7月に入ると米株高などを背景に外国人投資家を中心に買戻しが優勢となりましたが、8月中旬にはトルコリラの急落を受けて投資家心理が悪化し、その他の新興国と同様インドネシア株式市場も調整しました。9月から10月にかけてはインドネシアルピアが軟調に推移したことから、株式市場も上値の重い展開が続きました。10月下旬以降は米中貿易交渉の進展に期待が高まり一時的に買戻す動きも見られましたが、期末にかけて下落しました。

為替市場

当期のインドネシアルピアは対米ドルで下落しました。期初は米中貿易摩擦への懸念からルピアは下落しましたが、その後BIによる政策金利引上げや為替介入などを背景に落ち着いた値動きとなりました。2018年8月下旬には新興国市場に対する懸念が強まったことからルピアは下落し、さらに10月上旬に原油価格の上昇などが嫌気されて一段安となりました。11月に入ると株式及び債券市場へ外国人投資家から資金流入が見られたことでルピアは大きく上昇して期末を迎えました。対円でもルピアは下落しました。期初は落ち着いた値動きとなりましたが、7月中旬から8月にかけて円高米ドル安となったことからルピアは対円で下落し、期末まで上値の重い展開が続きました。

国内債券市場

期初から2018年7月下旬にかけて、日本国債は狭い値幅での推移となりました。日銀が長期金利の誘導目標の柔軟化を検討すると報道されたことなどから、日本国債利回りは上昇（価格は下落）しました。その後、トルコリラの急落を受けてリスク回避姿勢が高まり、日本国債利回りは一時低下（価格は上昇）しましたが、米国債利回りが上昇を続ける中で、日本国債利回りも期末まで緩やかに上昇しました。

ポートフォリオについて

当ファンド

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ（以下「インドネシア・エクイティ」ということがあります。）の組入比率を高位に保つよう運用しました。

インドネシア・エクイティ

主としてインドネシアの金融商品取引所に上場されている株式を主要な投資対象として、企業の本質的な価値を重視したバリュー投資を基本とし、ボトムアップ・アプローチに基づく銘柄選択により、中長期的な超過収益の獲得を目指した運用を行いました。当期

は食品メーカーのCharoen Pokphand Indonesia、自動車販売などを手掛ける持株会社のAstra Internationalの保有などがプラスに寄与した一方で、小売販売のMatahari Department Store、製紙会社のPT Indah Kiat Pulp & Paperの保有などはマイナスに影響しました。

イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型I (適格機関投資家向け)

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるICE BofAML 国債インデックス (1-10年債) を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきました。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳 (1万口当たり、税引前)

項目	第18期	
	2018年5月15日 ~2018年11月12日	
当期分配金 (円)		—
(対基準価額比率) (%)		—
当期の収益 (円)		—
当期の収益以外 (円)		—
翌期繰越分配対象額 (円)		759

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) -印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

当ファンド

主要な投資対象の一つであるインドネシア・エクイティの組入比率を高位に保つことを基本とします。

インドネシア・エクイティ

米国の長期金利の上昇を背景とした資金流出懸念や、米中貿易摩擦への不透明感などから多くの新興国市場において株式や通貨が下落し、インドネシアの株式市場も変動性が高まる場面が見られています。インドネシア中央銀行（BI）総裁は外部環境を見極めながら、通貨の下落圧力の緩和に向けた対応を継続する姿勢を示しています。一方で、引き続き中長期的なインドネシアのマクロ経済見通しは良好であり、運用担当者は状況を注視しつつ、市場の調整局面においてはファンダメ

ンタルズが堅固な企業の株式を割安な水準で組み入れる好機と考えています。業種別では、不動産が相対的に魅力的であると考える一方で、生活必需品は割高との見方を継続しています。

イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)

米国債など海外債券の利回りに追随し、長期的には日本国債利回りは上昇（価格は下落）するとみています。今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行い、ベンチマークであるICE BofAML 国債インデックス（1-10年債）を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。

お知らせ

該当事項はありません。

当ファンドの概要

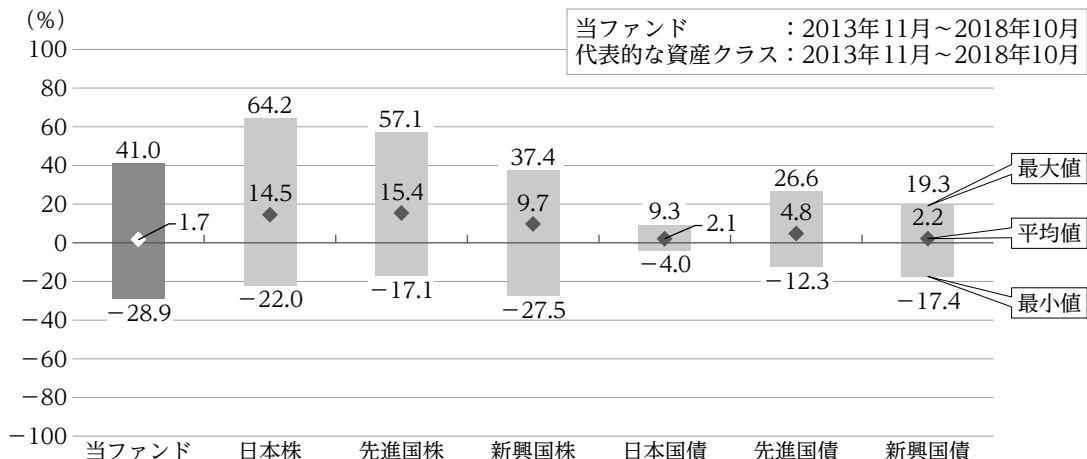
商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限（2009年11月30日設定）
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてインドネシアの金融商品取引所に上場されている株式に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラス J」の投資証券（米ドル建て）およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）」の受益証券（振替受益権を含みます。）を主要投資対象とします。
運用方法	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時（毎年5月12日および11月12日。休業日の場合は翌営業日。）に、基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないことがあります。

指数に関して

当ファンドの投資対象である「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）」のベンチマークについて

ICEデータ・サービスおよびその関連会社は、提供するインデックスデータに関してその継続性、正確性、完全性を保証するものではなく、当該データ提供に係り発生し得る損害についてもその事由の如何を問わず責任を負うものではありません。

(参考情報) 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※当ファンドと代表的な資産クラスについて、上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を表示し、定量的に比較できるように作成したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)	株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数 (TOPIX) の商標又は標章に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)	MSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)	
日本国債	NOMURA-BPI国債	野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)	FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
新興国債	J.P. Morgan Global Emerging Markets ローバル・ダイバーシファイド (円ベース)	J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

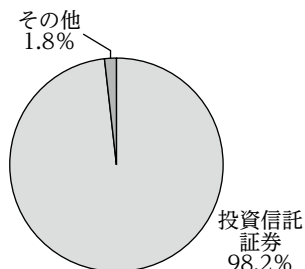
組入ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

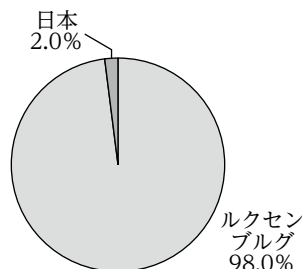
ファンド名	第18期末 2018年11月12日
イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ	98.0%
イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型I(適格機関投資家向け)	0.2%

(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

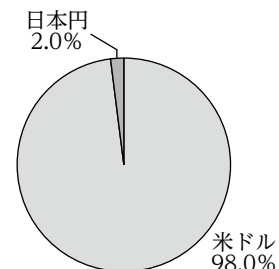
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

純資産等

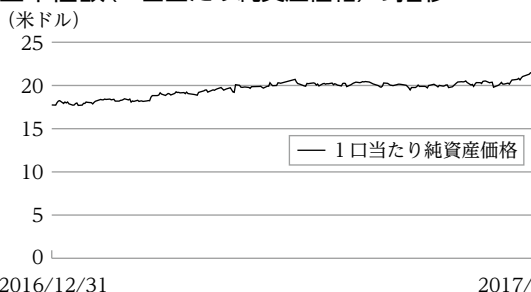
項目		第18期末 2018年11月12日
純資産総額	(円)	10,955,728,754
受益権総口数	(口)	12,426,979,013
1万口当たり基準価額	(円)	8,816

*当期中において追加設定元本額は1,187,474,246円、一部解約元本額は1,316,155,602円です。

組入上位ファンドの概要

<イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ>

基準価額(1口当たり純資産価格)の推移



1万口当たりの費用明細

(2017年1月1日～2017年12月31日)

当該期間のAnnual Report (監査済み)には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

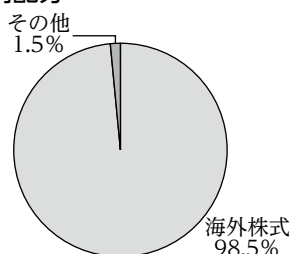
以下は、イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンドの内容です。

組入上位10銘柄(組入銘柄数：32銘柄)

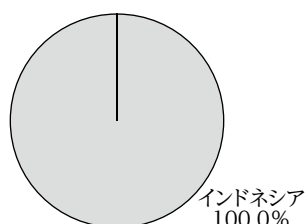
(2017年12月31日現在)

銘柄名	業種	国・地域	比率
Bank Rakyat Indonesia Persero Tbk PT	銀行	インドネシア	9.9%
Telekomunikasi Indonesia Persero Tbk PT	電気通信サービス	インドネシア	8.8%
Bank Central Asia Tbk PT	銀行	インドネシア	8.5%
Astra International Tbk PT	自動車・自動車部品	インドネシア	6.3%
Bank Negara Indonesia Persero Tbk PT	銀行	インドネシア	6.2%
Bank Mandiri Persero Tbk PT	銀行	インドネシア	5.1%
Gudang Garam Tbk PT	食品・飲料・タバコ	インドネシア	4.4%
Matahari Department Store Tbk PT	小売	インドネシア	3.7%
Hanjaya Mandala Sampoerna Tbk PT	食品・飲料・タバコ	インドネシア	3.5%
Unilever Indonesia Tbk PT	家庭用品・パーソナル用品	インドネシア	3.5%

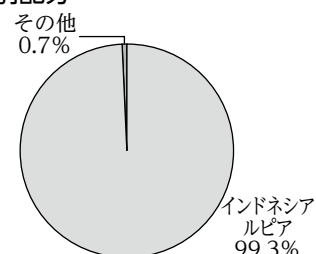
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの(監査済みおよび同時点の関連データを含む)を使用しています。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

組入上位ファンドの概要

<イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）>

基準価額の推移

(2017年2月28日～2018年2月26日)



1万口当たりの費用明細

(2017年2月28日～2018年2月26日)

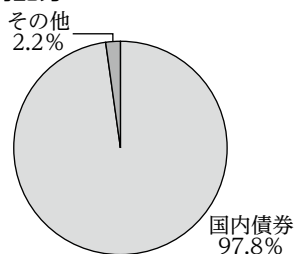
項目	金額	比率
(a) 信託報酬	23円	0.215%
（投信会社）	(15)	(0.140)
（販売会社）	(2)	(0.022)
（受託会社）	(6)	(0.054)
(b) その他費用	1	0.013
（監査費用）	(1)	(0.013)
（その他）	(0)	(0.000)
合計	24	0.228

組入上位10銘柄 (組入銘柄数：20銘柄)

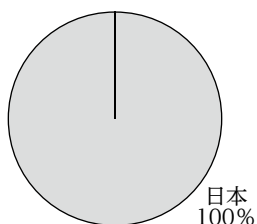
(2018年2月26日現在)

銘柄名	種別	利率	償還日	国・地域	比率
第87回利付国債（20年）	国債	2.2%	2026/3/20	日本	9.0%
第91回利付国債（20年）	国債	2.3%	2026/9/20	日本	8.3%
第63回利付国債（20年）	国債	1.8%	2023/6/20	日本	7.6%
第48回利付国債（20年）	国債	2.5%	2020/12/21	日本	7.5%
第311回利付国債（10年）	国債	0.8%	2020/9/20	日本	7.1%
第67回利付国債（20年）	国債	1.9%	2024/3/20	日本	7.0%
第80回利付国債（20年）	国債	2.1%	2025/6/20	日本	6.1%
第53回利付国債（20年）	国債	2.1%	2021/12/20	日本	6.0%
第47回利付国債（20年）	国債	2.2%	2020/9/21	日本	5.9%
第112回利付国債（5年）	国債	0.4%	2018/6/20	日本	5.6%

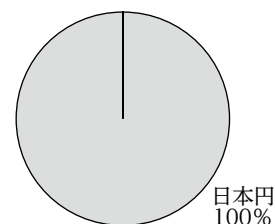
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 1万口当たりの費用明細の項目の概要および注記については、2ページの「1万口当たりの費用明細」の記載をご参照ください。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。